

お赤飯アンケート分析

(2017年版)



1. 調査実施概要Page2
2. 「お赤飯」の嗜好性Page3
3. 「お赤飯」を食べる頻度Page4
4. 「お赤飯」の入手方法Page5
5. 「お赤飯」に求めるものPage6
6. 「お赤飯」の食事機会Page7
7. 「お赤飯」の食事機会の変化Page8
8. 「お赤飯」の食卓Page9
9. ハレの日のメニュー(献立)Page10
10. 「お赤飯」のキーワードPage11
11. 「お赤飯」を食べる行事Page12
12. 「お赤飯の日」の認知度Page13

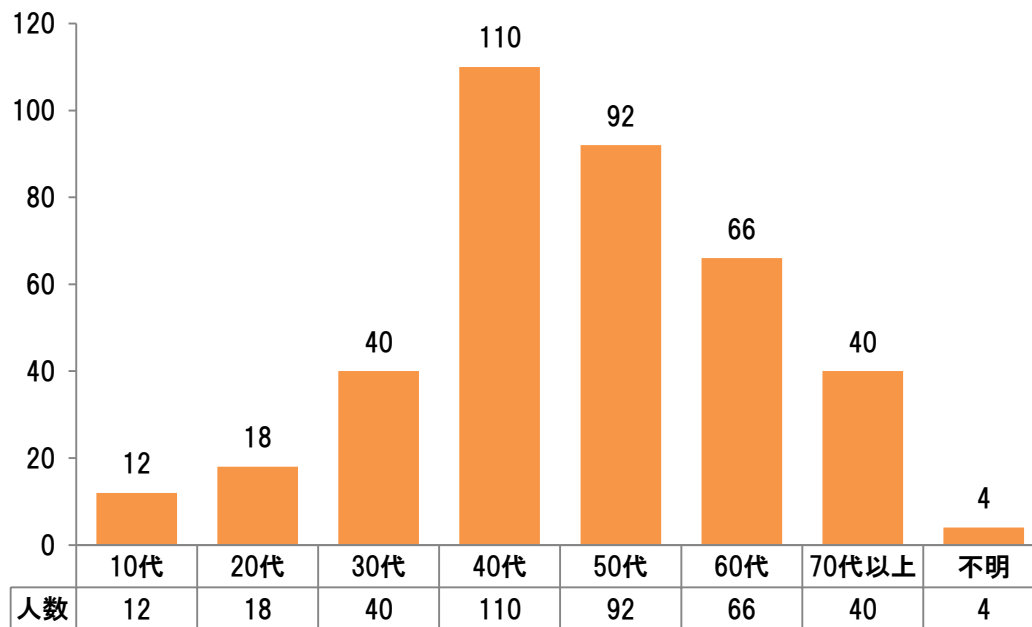
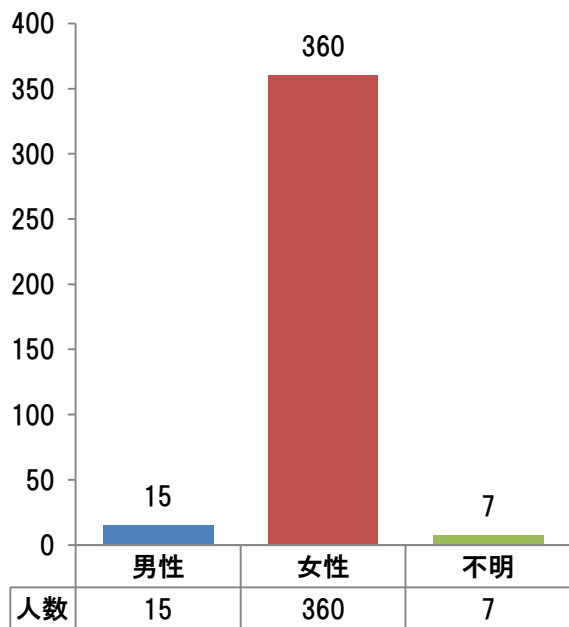
1. 調査実施概要

■調査方法 : 展示会におけるアンケート形式

■調査期間 : 2017年4月27日(木)~29日(土)

■モニター条件 : 簡単に調理できるお赤飯商品プレゼント対象者

■有効回収数 : 382人



2. 「お赤飯」の嗜好性

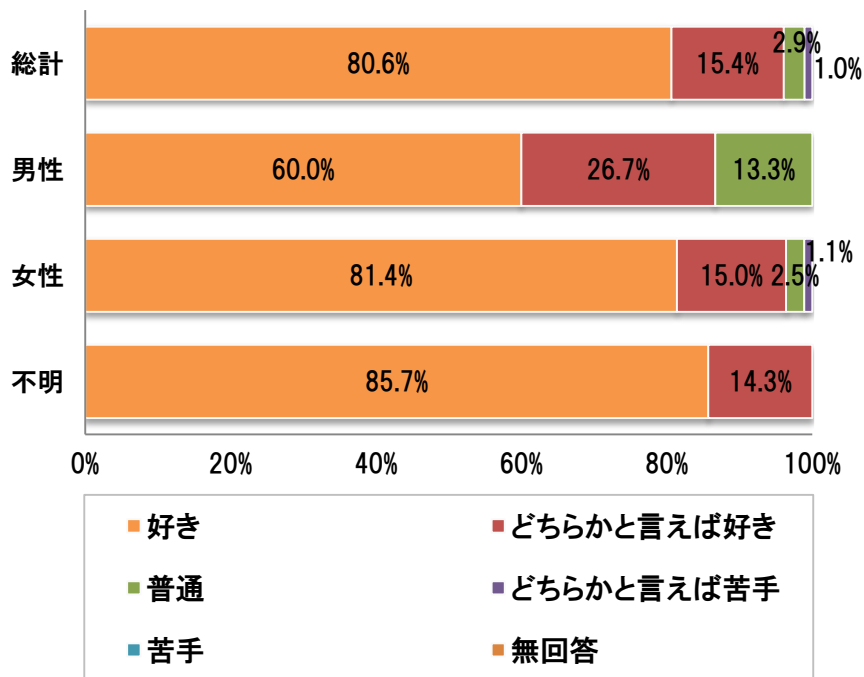
■「お赤飯」は好きですか？

「お赤飯」が『好き』『どちらかと言えば好き』と答えた人は、全体の9割を超えました。
⇒その理由として、赤飯特有の「もちもち感」を理由にあげる人が多い傾向にありました。

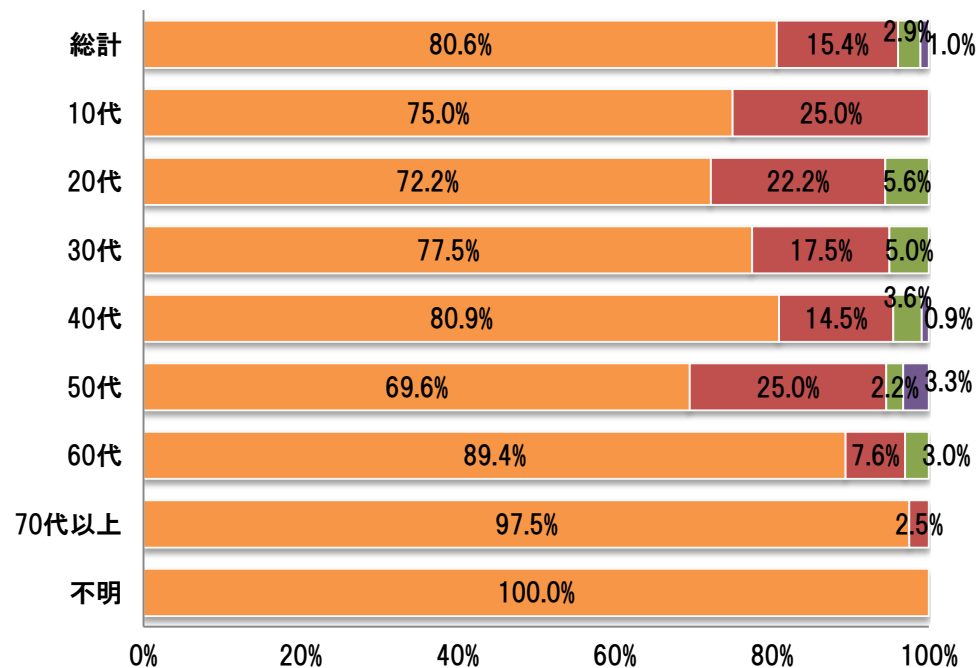
性別 男性よりも女性の方が「お赤飯」を好む傾向にあります。

年代別 60代以上は特に「お赤飯」を好む人の割合が高い傾向にあります。

【性別】



【年代別】



3. 「お赤飯」を食べる頻度

■「お赤飯」をどれくらいの頻度で食べますか？

「お赤飯」を食べる頻度は、『2～3ヶ月に1回』が一番多い結果となりました。
⇒イベント事・季節事に1回食べる傾向にあると考えられます。

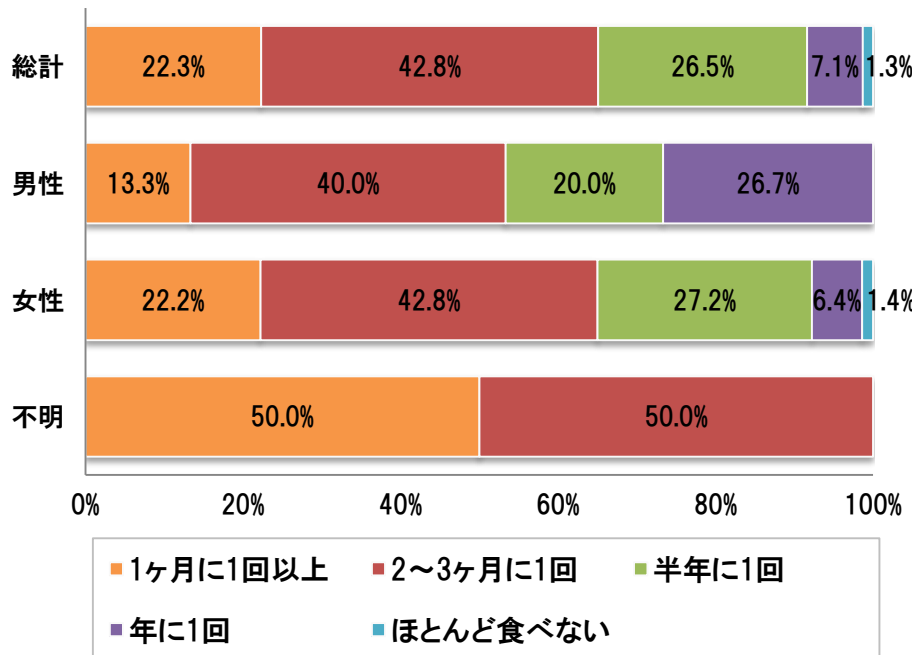
性別

男性、女性ともに5割以上の方が2～3ヶ月に1回以上は「お赤飯」を食べていることが分かりました。

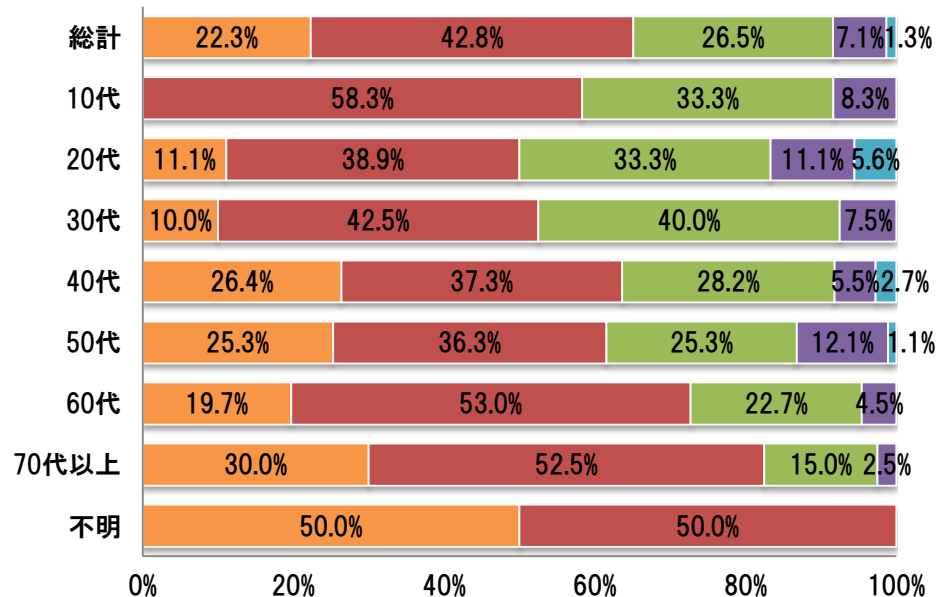
年代別

60代以上の方が「お赤飯」を食べる頻度が高い傾向にあります。

【性別】



【年代別】



4. 「お赤飯」の入手方法

■「お赤飯」は、どのように入手しますか？(複数回答)

「お赤飯」の入手方法は、『自分で作る』や『スーパーで買う』が多いという結果になりました。

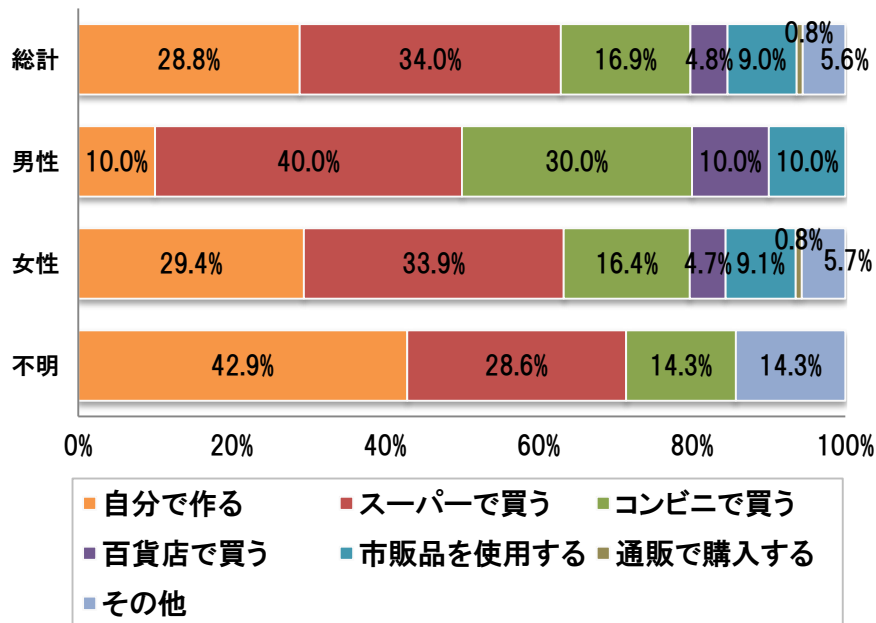
性別

女性よりも男性の方が『スーパー、コンビニで買う』傾向にあります。

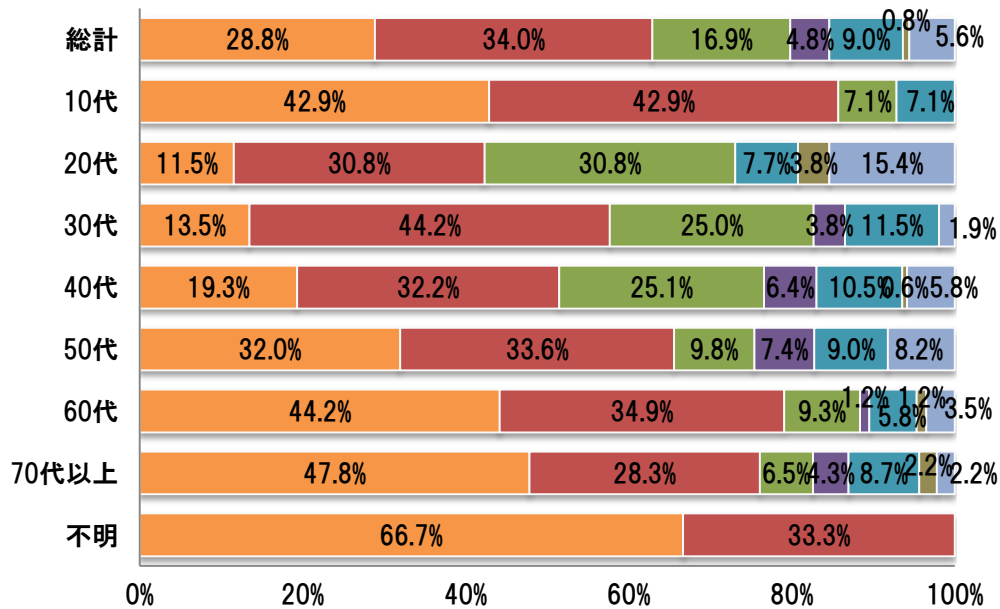
年代別

年代が上がるにつれて『自分で作る』傾向が高くなります。
若年層は『コンビニで買う』傾向が高く、コンビニで赤飯おにぎりを買っていると推測できます。

【性別】



【年代別】



5. 「お赤飯」に求めるもの

■「お赤飯」に求めるものは何ですか？（複数回答）

消費者は「お赤飯・おこわ」に対して『食感(もちもち感)』『味付け・風味』を重視し、『価格』『原料』に対するこだわりを上回る傾向にあります。

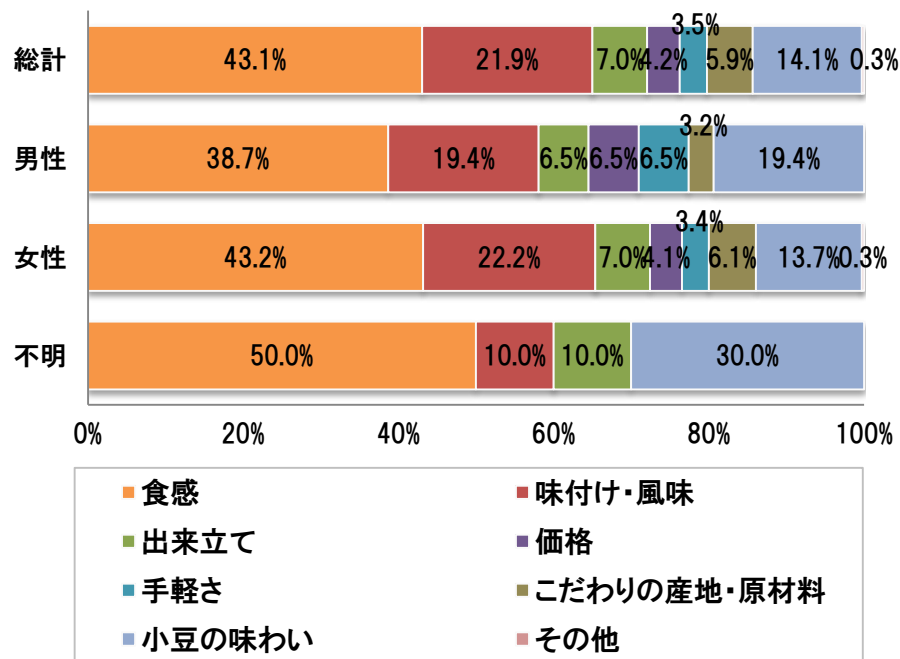
性別

男性、女性ともに『食感(もちもち感)』を求める傾向にあります。

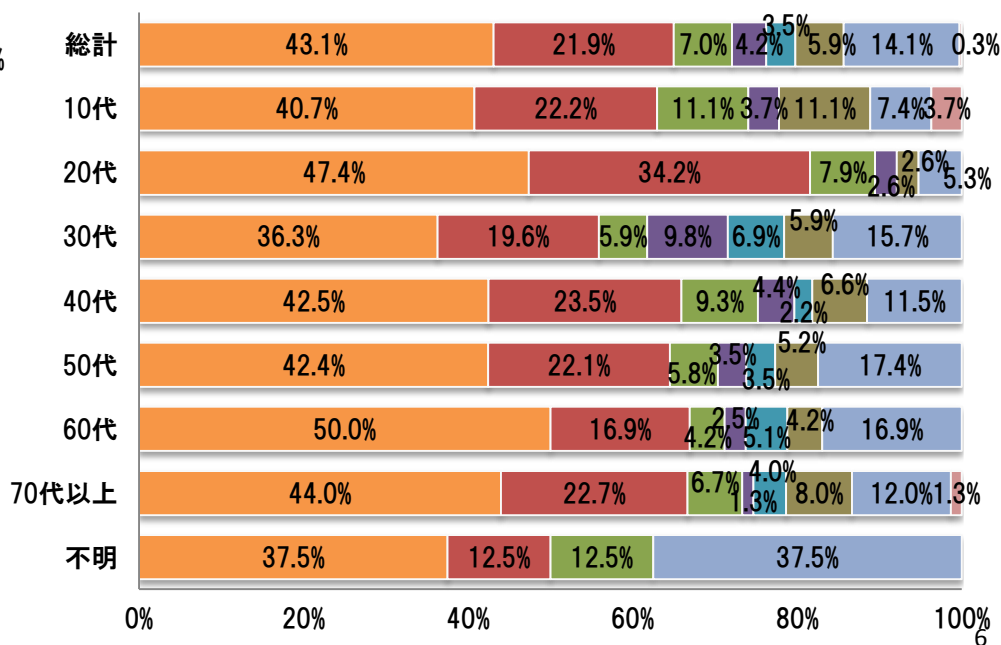
年代別

30代は他の年代に比べて『価格』や『手軽さ』の割合が高い傾向にありました。

【性別】



【年代別】



6. 「お赤飯」の食事機会

■「お赤飯」はどんな時に食べますか？(複数回答)

『誕生日』『入学式・卒業式』などお祝い・イベントの時に良く食べられる傾向にありました。
次いで、『普段の食事として』食べられる傾向にあり、「お赤飯」の人気の高いことが伺えます。

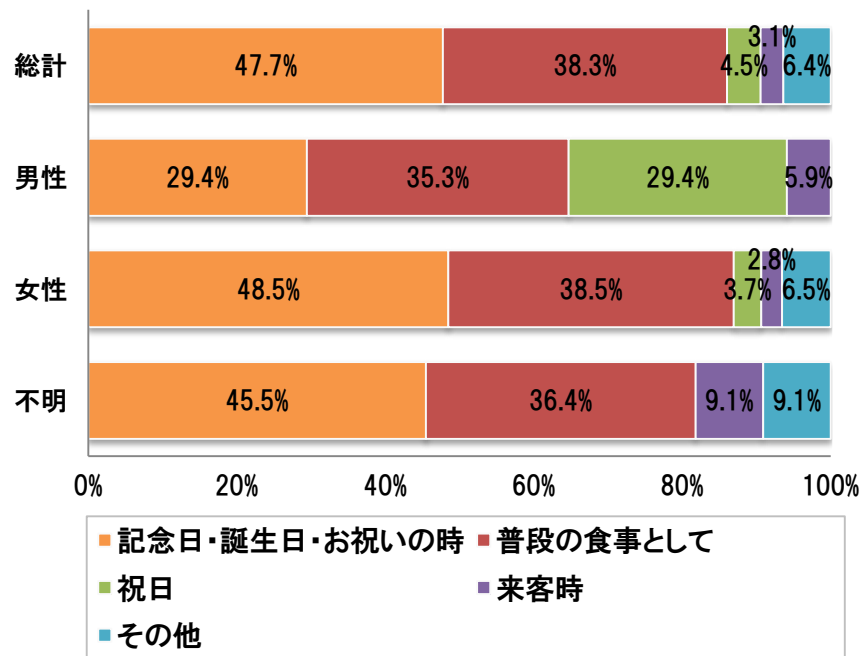
性別

女性は『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる傾向が高い結果となり、逆に、男性は『普段の食事として』食べる傾向が高い結果となりました。

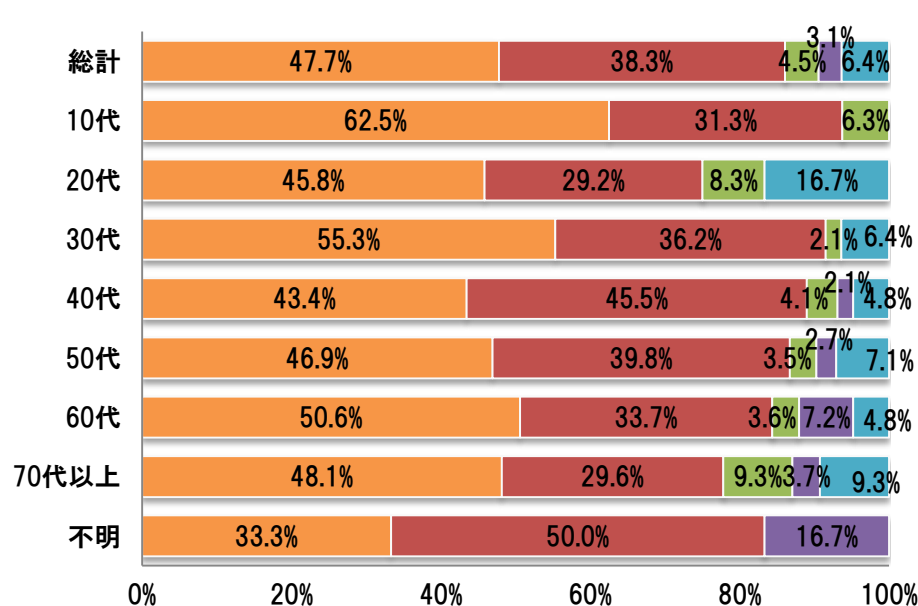
年代別

どの年代も『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる機会が多く、子供や孫の成長に合わせた節目に食べていると考えられます。

【性別】



【年代別】



7. 「お赤飯」の食事機会の変化

■2～3年前と比較して「お赤飯」(おにぎり含む)を食べる機会は増えましたか？

全体的に「お赤飯」の食事機会は2～3年前と比較して『変わらない』人の割合が高く、また、『減った』よりも『増えた』割合の方が高い結果となりました。

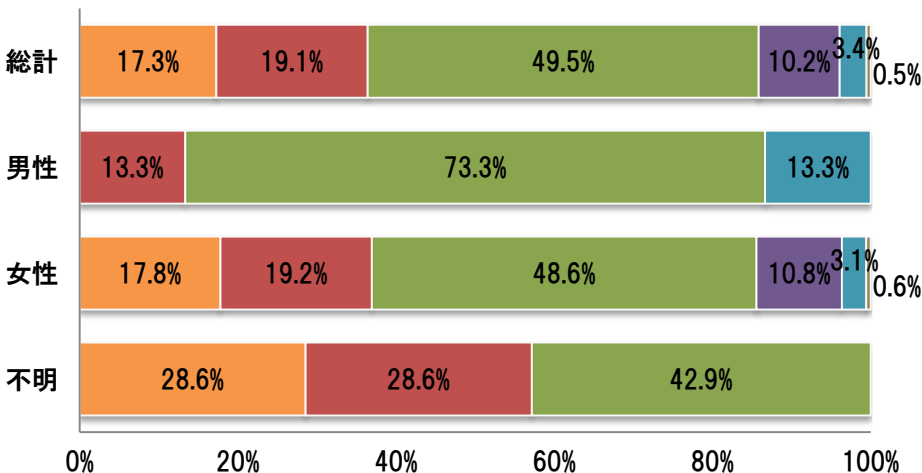
増えた理由

『手軽に作ることができる「素」があるから』『手軽に手に入る』『コンビニおにぎりの購入』など**手軽さ**を重視している意見が多く見られました。

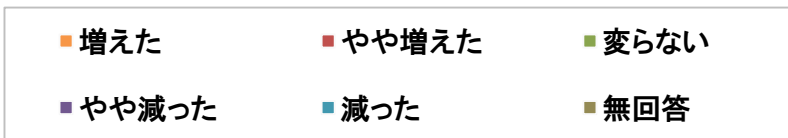
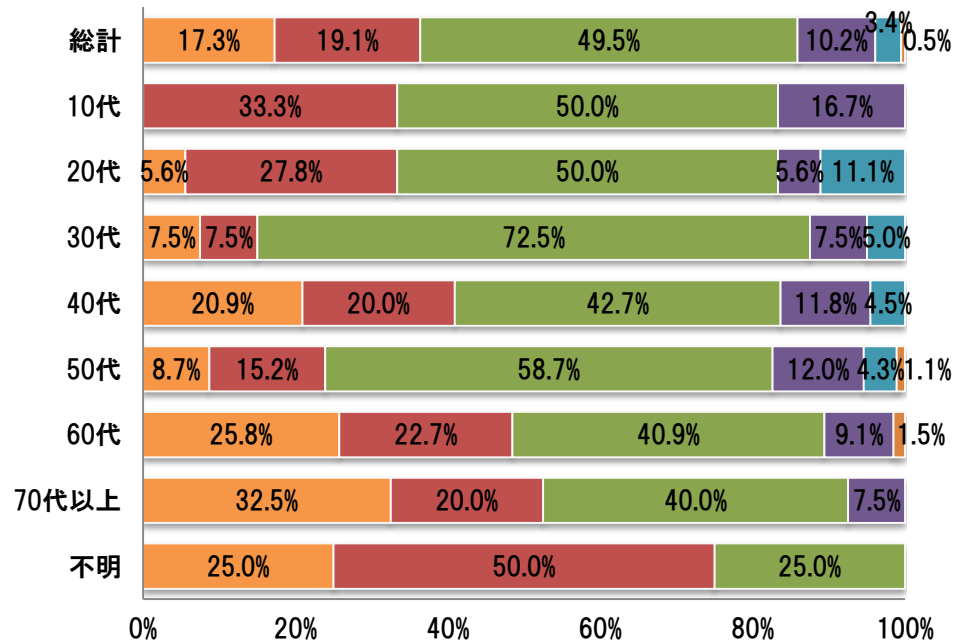
減った理由

「子供が成長して祝い事が少なくなったため」などの**食の環境の変化**が理由であることが分かりました。

【性別】



【年代別】



8. 「お赤飯」の食卓

■お赤飯と一緒に何を食べたいですか？(複数回答)

『みそ汁やお吸い物などの汁物』『煮物』などの和風でベーシックなものが好まれる傾向にあります。

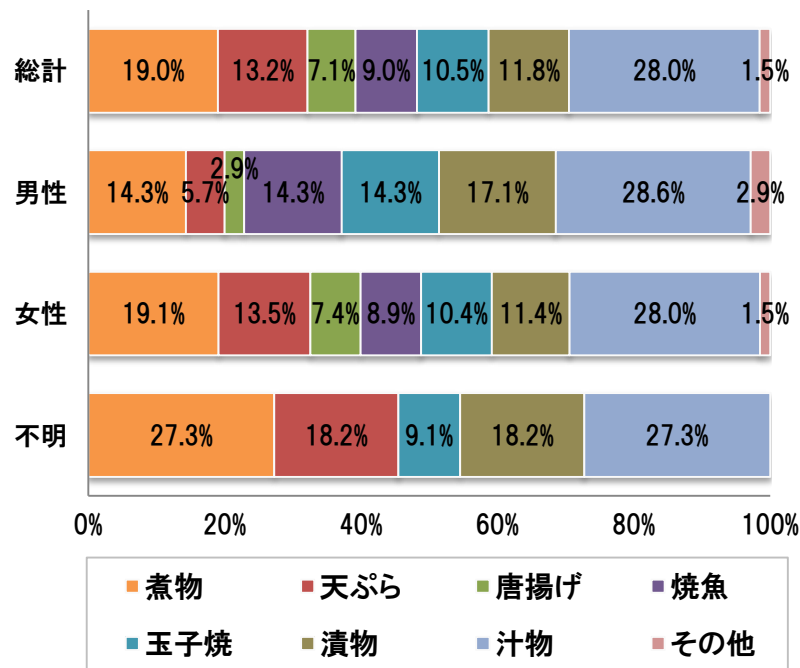
性別

女性・男性共に『みそ汁やお吸い物などの汁物』を好む傾向、男性は『漬物』も好む傾向にあります。

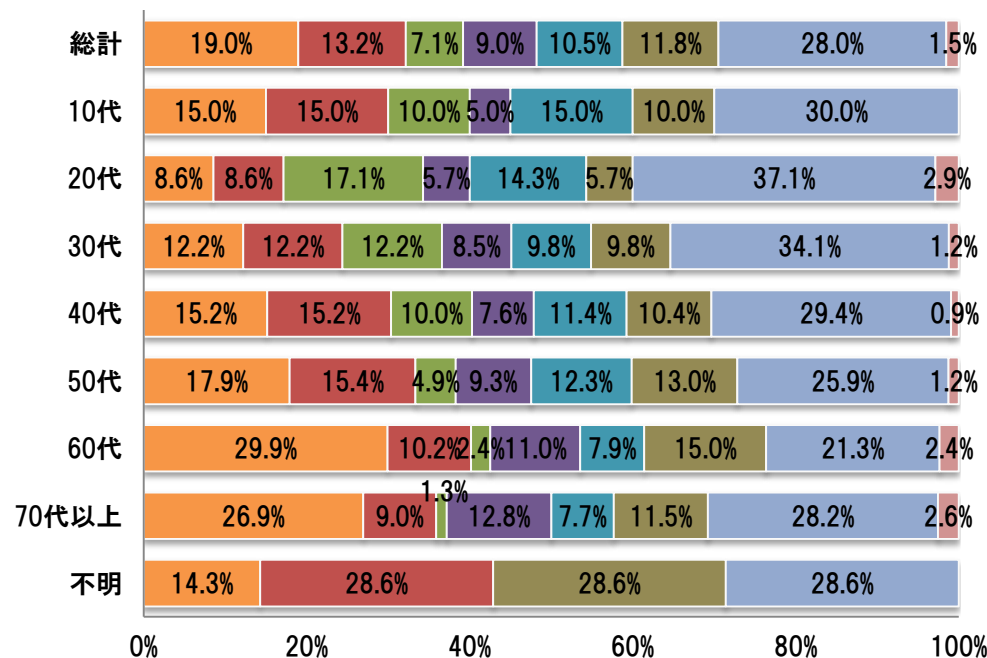
年代別

年齢層が上がるほど『煮物』『焼魚』と和風でベーシックなものを好む傾向、年齢層が下がるほど『天ぷら』『唐揚げ』と揚げ物を好む傾向にあります。

【性別】



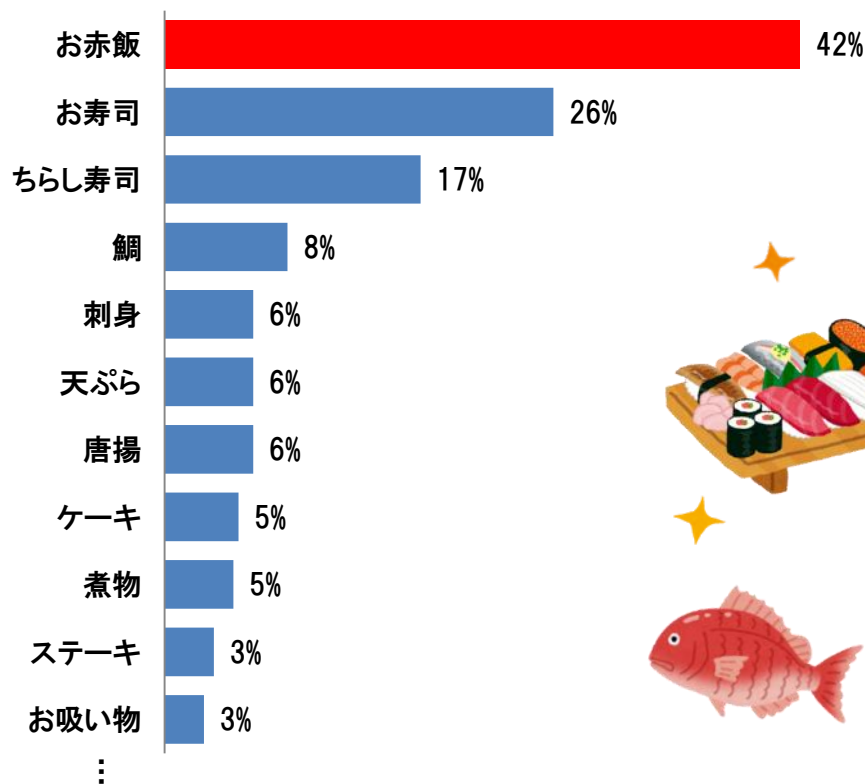
【年代別】



9. ハレの日のメニュー(献立)

■ハレの日のメニュー(献立)と言えば、何を思い浮かべますか？(自由回答)

※回答数309のうち、上位11メニュー

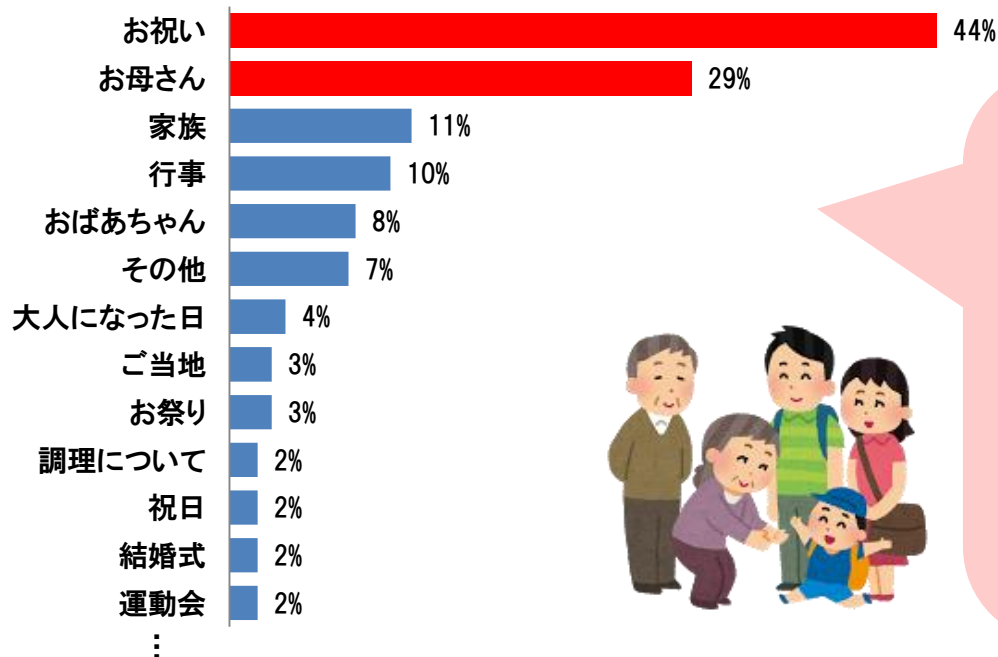


ハレの日のメニュー(献立)は、『赤飯』と答える人が4割以上を占める結果となりました。
次いで、『お寿司』『ちらし寿司』という結果になりました。
⇒「お赤飯」はお祝いごとなど特別な日に食べるメニューであることが伺えます。

10. 「お赤飯」のキーワード

■お赤飯に関する思い出(自由回答)

※回答数227のうち、上位13回答



一部抜粋…

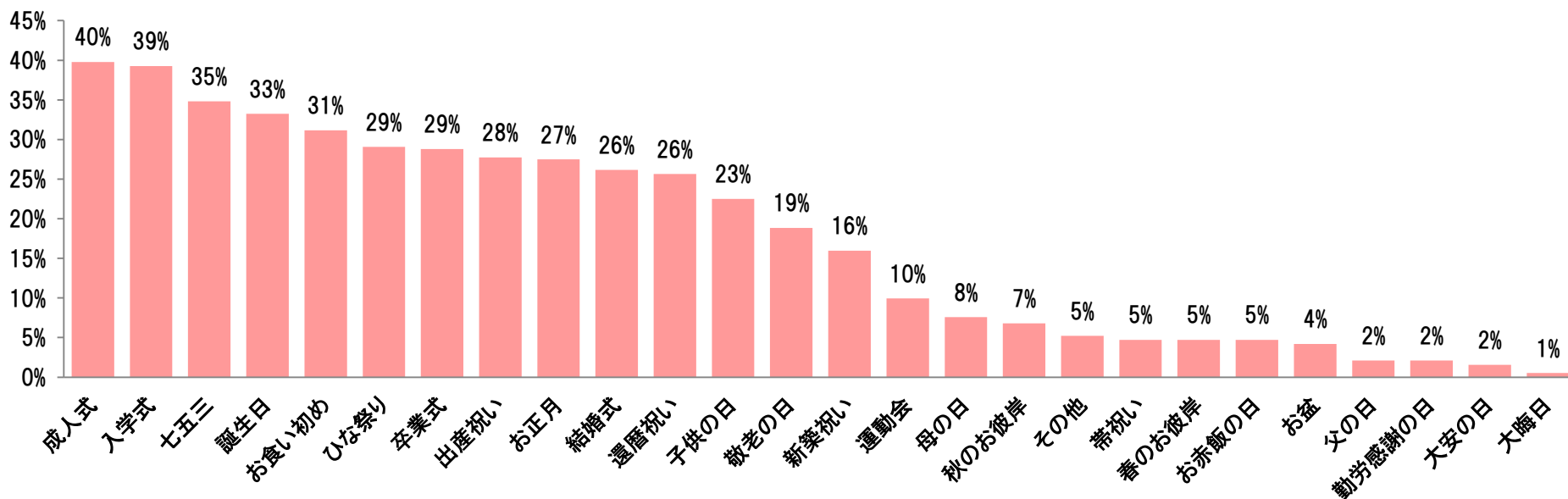
- ・お祝いの時には、おばあちゃんがせいろでお赤飯を作ってくれました。日本一のお赤飯の味。(30代・女性)
- ・母が作ってくれ、今は子供・孫の誕生日などに作っています。(60代・女性)
- ・母がセイロでふかしてくれて結婚式の披露宴で配った。(50代・女性)
- ・実家が北海道なので甘い豆のお赤飯が食べたくなる。(50代・女性)
- ・両親宅は毎月1日にお赤飯を炊いている。(60代・女性)

「お赤飯」に関する思い出は、1位『お祝い』、2位『お母さん』という結果になりました。

- 特に、30代以上に多かった意見が『お祝い』『母の手作り』です。
⇒入学式・成人式など子どもの成長に合わせたお祝い、ハレの日
- 共通するキーワードは、『子供の頃の思い出』
⇒親世代である30代以上に「お赤飯」を作ってもらう事・食してもらう事が、今後のお赤飯の消費拡大につながると考えられます。

11. 「お赤飯」を食べる行事

■「お赤飯」を食べるお祝いや行事(複数回答)



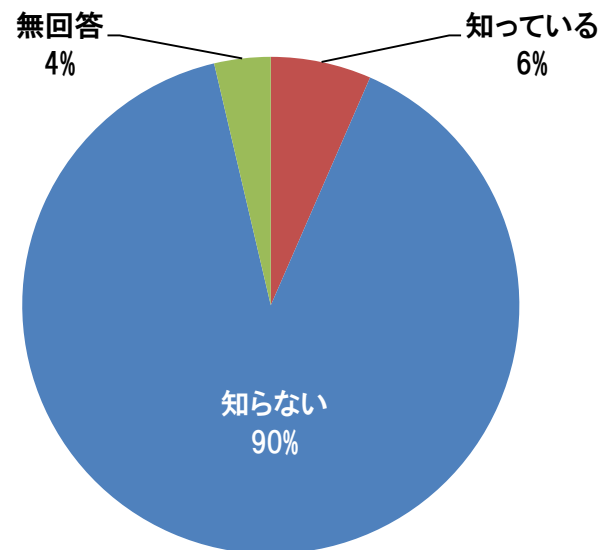
年間を通して、各種お祝いや行事、季節の節目にお赤飯が食べられています。
「お赤飯」=日本のお祝いごとや行事などによく食べられるメニューであることが伺えます。

- 「成人式」や「入学式」「七五三」「誕生日」「お食い初め」には3割以上の方がお赤飯を食べると回答しました。



12. 「お赤飯の日」の認知度

■11月23日は「お赤飯の日」ですが、知っていますか？



「お赤飯の日」の認知度は、6%と認知度がまだまだ低いことが分かりました。

● 「お赤飯の日」を知っている人は、BtoC展示会『ホビー・クッキングフェア』で認知することが多い結果となりました。

⇒直接、消費者にPRできる貴重な機会になっていることが分かりました。

● 昨年はなかった『スーパーマーケット』で認知したとの回答もあり、少しずつですが「お赤飯の日」が普及していることが伺えます。

● 更に11月23日の「お赤飯」需要を拡大するため、消費者が「お赤飯」を食べる動機づけを喚起する必要があります。



(2016年11月23日 明治神宮参道 お赤飯無料頒布の様子)